



平成27年11月30日

午前・後 9時58分受領

平成27年12月30日

南山城村議会議長 新田晴美様

南山城村議会議員 橋本洋一

### 一般質問通告書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 住民要求について	<p>議会は11月から地域報告会を開催しているが、村民から多岐にわたる要求が吹き出ている。簡単または緊急を要する次の点について早急に実現を図るべきだと考えるがどうか。</p> <p>① 防災無線の聞き逃しが多い。せめて2回の繰り返し放送をすること。</p> <p>② 街灯(防犯灯)の未設置箇所があり危険だ。村として調査し、改善を図ること。</p> <p>③ 土砂採取により荒れている村道石打線・奈良県境付近について路面の応急措置をすること。</p> <p>④ 高度情報ネットワークで、他人の印刷物が別人のプリンタに打ち出されるという事象が起こっており、個人情報漏洩の危険性がある。早急に対応をとること。</p> <p>⑤ 他にも要望は多数ある。行政として村民の声を聞く地域懇談会を年1回でも開催し、丁寧に対応すること。</p>	村長
2 地方創生総合戦略及び道の駅事業計画について	<p>① 村長は6月議会で、「総合戦略は10月中、道の駅計画は12月に作成する」と明言されたが未だ何の提示もない。村の将来にとって重要な計画を住民代表である議会に諮るべきだし、12月議会で議論すべきだ。議論なしで戦略を国に提出し、道の駅計画を実施することは議会・住民軽視だ。村長の議会発言は軽すぎるし、無責任だ。口では否定・弁解されるだろうが事実はそのようになっている。答弁を求め。</p> <p>② 村資料(6月10日付WSで配布)では「目標売上高(1.9億円、集客13万人)」「市場商品構成」「道の駅商品500品目」「米のブレンド化」「村茶商品チャート」等の数字・図が示されている。又「月刊むらびいと10号」で道の駅の目的が図示されているがどちらも絵に描いた餅になっている。一例を挙げると生産計画。米、茶、トマト、椎茸などの特産品を販売し、加工商品化すると増産が必要となる。どの地域の誰にどの程度の増産を依頼するのか。</p>	村長

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載してください。(議員必携150ページ参照。)

2 質問の相手は、村長、行政委員の長または監査委員とします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>これでどの程度まで農業の活性化が実現できるのか。</p> <p>加工商品はどこで誰に依頼しどの程度生産するのか。農地や加工場の整備はどうするのか。雇用、財源はどうするのか。これらの計画がないと絵に描いた餅に終わってしまう。販売計画も同様。目的である6次産業化はどのように絵を描くのか。示されていない。</p> <p>とりあえず農業活性化策について計画を説明されたい。</p> <p>③ 村は今般、実践型地域雇用創造事業の採択に関わり、事務局員の募集をしているが、どのような事業を何の目的で実施するためのものか説明されたい。</p>	
3 南山城村自然の家について	<p>自然の家は4月の開業以来7ヶ月が経過した。初年度の事業計画はどの程度達成され営業実績はどうなっているのか。(サッカーアカデミー事業、茶摘み体験、忍者体験、ブルーベリー狩り体験、グラウンド使用・宿舎利用事業など)現時点での村の評価と今後の村としての指導について聞く。</p>	村長